

平成 年 月 日

情報連携統括本部長 殿

所属長

〔公印省略〕

名古屋大学仮想専用サーバホスティングサービス利用申請

名古屋大学仮想専用サーバホスティングサービス利用内規に基づき、下記のとおり申請いたします。
なお、サービス維持費として別に定める経費を、情報連携統括本部にお支払いします。

記

1. 利用目的：
2. 利用開始希望年月日： 平成 年 月 日
3. ホスト名 (FQDN)： _____ .nagoya-u.ac.jp
4. DNS 逆引き設定： (要 ・ 不要)
5. 希望するディスクサイズ： (20GB ・ 40GB ・ 60GB ・ 80GB ・ 100GB)
6. 希望するメモリサイズ： (1GB ・ 2GB ・ 3GB ・ 4GB)
7. 使用する OS： (CentOS 32bit ・ CentOS 64bit ・ Windows Server ・ その他)
8. 初期作成ユーザ I D：
9. ssh または RDP 接続を許可するクライアント I P アドレス (複数可)：
10. 管理責任者：氏 名
所属 (内線)
e-mail
11. 負担金 (校費振替) 請求先：

上記の申請を承認します。

IP アドレス	1 3 3 . 6 . 8 2 .
負担金	年額 円

平成 年 月 日

名古屋大学情報連携統括本部長 〔公印省略〕

記入要領と注意事項

- ・利用目的
部局の Web サーバ、Mail サーバ等の用途を記入してください。
- ・ホスト名
ドメイン名も付けた形式でホスト名を決めてください。
- ・DNS 逆引き設定
DNS 逆引き設定の要・不要を選択してください。
- ・希望するディスクサイズ
OS 等も含んだ仮想サーバ全体で使用するディスクサイズを選択してください。
- ・希望するメモリサイズ
仮想サーバが使用するメモリサイズを選択してください。
- ・使用する OS
仮想サーバにインストールする OS を選択してください。
CentOS 32bit または 64bit / Windows Server
* ただし **Windows Server** は利用者側で準備していただく必要があります。
他の OS を使用したい場合や、パーティション分割を指定したい場合などは別途ご相談ください。
OS のインストールは情報連携統括本部が行います。
UNIX 系 OS の swap サイズはメモリサイズの 2 倍を標準とします。
- ・初期作成ユーザ ID
OS インストール時に作成するユーザ ID を 1 個指定してください。この ID で管理者権限を持つことができるよう設定します。初期パスワードは別途お知らせします。
- ・ssh または RDP 接続を許可するクライアント IP アドレス
UNIX 系 OS をインストールする場合、ssh で接続できるクライアントを IP アドレスで制限します。
接続を許可する ssh クライアントの IP アドレスを記入してください。OS が Windows Server の場合は RDP 接続できるクライアントを制限します。
- ・仮想サーバが使用できる IP アドレスは 1 個です。
- ・仮想サーバに割り当てる仮想 CPU は 1 個です。2 個以上必要な場合は別途ご相談ください。
- ・年に 1 回、監査ツールによるセキュリティ監査を実施し、その結果を管理責任者にご報告します。随時の監査実施も可能です。

負担金表（年額：単位円）

		ディスクサイズ				
		20GB	40GB	60GB	80GB	100GB
メモリサイズ	1GB	12,000	18,000	24,000	30,000	36,000
	2GB	24,000	30,000	36,000	42,000	48,000
	3GB	36,000	42,000	48,000	54,000	60,000
	4GB	48,000	54,000	60,000	66,000	72,000

注 1) 仮想 CPU が 2 個以上必要な場合は、1 個追加するごとに 12,000 円増額となります。

注 2) 利用を開始する年度内は無料とし、翌年度から負担金年額を校費振り替えて納入するものとします。なお、年度途中で利用を廃止された場合も、月割り等による返金はいたしません。

注 3) 年度末で利用を廃止する場合は、当該年度の 2 月末までに廃止届を提出してください。

問い合わせ先：情報連携統括本部情報推進部情報基盤課情報システムグループ

内線：4 3 7 1 Mail:systemg@icts.nagoya-u.ac.jp